

地形図を眺めていると、鯖江市の東端に小さな盆地があり、400m 前後の山々がその街を取り巻くように連なっている。時計回りに縦走できそうなので面白そうだった。

河和田町の神社の駐車場から取り付いた。登山道らしい階段があるがすぐ行き止まりで現在は使われていない。神社の階段を登ると、谷沿いの薄い踏み跡の山道となるが獣道に紛れて不明瞭。尾根に乗ると道は西に向かう。急な登りとなるがすぐに 271mの寺山に到着する。寺山からは穏やかな山道となり、植林と自然林が混在するが楽しく歩ける。

P329mのアカハゲ山から方向が北に変わる。急坂を標高差 70m ほど下り、コルから比較的穏やかな尾根を歩くと三角点のある水谷山 334mに到着する。この山も樹林に囲まれ展望はない。丁度昼なのでランチとする。

山頂から方向が東に変わるがすぐに北東に向かう尾根を歩く。複雑に方向が変化するので読図力がある。 快適な尾根道を鼻歌交じりで歩いていると突然左上空からザッザーと熊が木を滑り落ちたので先頭の H 女史が小さな悲鳴。全員恐怖で固まっていたが、熊は慌てて斜面に逃げていった。アベマキのドングリを食べていたのだろうか。

その後の休憩地でも H さんが土蜂の巣を踏み壊したのか蜂に攻撃され首筋を刺されて悲鳴をあげながら手を振るのでますます蜂が興奮している。彼女を巣から離れた場所に誘導し、傷口をポイズンリムーバーで毒液を 3 回ほど吸い出し水で洗浄する。身体状態を確認するが痛みはあるが吐き気や頭痛はなく歩けるというので登山を続ける。時折傷口を確認するが腫れてくる様子はなかった。

城山 404.4mには三角点があり北方面に展望があり越前海岸が見える。城山から尾根の方向は東に変わる。尾根にはアベマキやイヌブナ、コナラ、リョウブ、シデ類の大木が多く残され山深い印象で低山とは思えない。砥山までは思いのほか遠く感じる。

砥山 465mも樹林に囲まれ展望はない。休憩後 P 420mを目指す。このピークから尾根伝いに南に下る。送電線沿いなので上空を確認しながら尾花町まで下る。

道路にでると登山口の神社のある尾根が見える。ほぼ真っすぐ西に向かう道路をひたすら歩く。アスファルト道は足にひびく。

下山後、家でポイズンリムーバーを開けると血液は混じってないが、毒液の量は結構多かった。登山者の皆さん、ポイズンリムーバーを必ず携帯して下さい。

メンバ★三鍋 他 3 名 コース★河和田町 10:30～寺山 11:03 発 8～あかはげ山 11:23 発 30～水谷山 11:57 発 12:22～城山 13:31～砥山 14:40 発 45～下降点 15:08～尾花町 15:08～河和田町 15:16

